

～下記の研究を行います～

『日本における HIV 感染者・エイズ患者の 発生動向に関する研究

①CD4 depletion model パラメータの作成』

【研究の主宰機関】 国立感染症研究所

【研究代表者】 砂川富正

【研究の目的】 日本における CD4 数減衰速度を推測し、未診断者を含む HIV 感染者数全体の推定を行い、HIV 感染予防戦略に役立てることを目的とします。

【研究の期間】 研究許可日～2028 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

1985 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日に当院を受診した HIV/AIDS 感染者

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：初診年月日・診断年月日・診断時年齢・性別・国籍・感染経路・病型・HIV 抗体検査が最終陰性であった年月日・初めて HIV 抗体検査が陽性であった年月日・ウエスタンブロット法の結果・初めて PCR 検査が陽性であった年月日・HIV-RNA 検査の結果・急性感染の発症年月日とその症状・抗 HIV 療法開始年月日・抗 HIV 療法開始前の死亡の有無とその死亡年月日・抗 HIV 療法開始前の脱落の有無・HIV ウイルスのサブタイプ等

●外部への情報等の提供

国立感染症研究所へのデータの提供は、パスワードを付した電子メール等で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当院の研究責任者が管理し、データを提供する前に適切な方法で対応表を破棄します。

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立感染症研究所 実地疫学研究センター

砂川富正

国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センターエイズ先端医療研究部

渡邊 大

琉球大学病院感染症・呼吸器・消化器内科（第一内科）

仲村秀太

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学

頼藤貴志

【研究の資金源】

厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)の公的研究費

【利益相反】

臨床研究における利益相反(COI(シーオーアイ): Conflict of Interest)とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

臨床研究センター エイズ先端医療研究部長 渡邊 大

研究代表者

国立感染症研究所 実地疫学研究センター

センター長 砂川富正